



2025年4月1日
苫小牧埠頭株式会社

飼料サイロ事業における太陽光発電・蓄電池設備の運用開始について

苫小牧埠頭株式会社（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長 海津 尚夫、以下「当社」。）は、これまでオフサイト PPA モデルを活用した太陽光発電・蓄電池設備の導入に向け準備を進めてまいりましたが、このたび設置が完了し、2025年4月1日より運用を開始しました。

本件は、当社サイロ7棟で使用する電力に関し、敷地外（当社所有地）に太陽光発電設備を設置し自営線を介して発電した全量を送電するものです。また併設する蓄電池は、電力負荷の平準化を実現するとともに、BCP 対策として停電時の非常電源としての役割も担います。太陽光発電設備により、サイロ棟の年間電力需要の約 20%を賄うことが可能となり、年間約 400 トンの CO2 排出量削減が見込まれます。既に当社では、再生可能エネルギー電力メニューの導入等を行い、CO2 排出量の削減に取り組んでいるところですが、2023 年度の実績に本件による効果を加えると、2013 年度比約 30%の排出量削減となります。

当社は、2022年11月に発表した「中期経営計画 TOMAF2025（2022～2025年度）」において、環境問題に対応すべく自社のカーボンニュートラル計画を掲げ、2025年度時点の CO2 排出量を 2013 年度比で 10%削減、その後の取り組みの深化により 2050 年度に当社単体でネットゼロ達成を目指しております。本件をはじめ、様々な取り組みを通じて、今後ともカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

<写真：太陽光発電設備>



<写真：蓄電池設備>



<設備概要>

所在地	北海道苫小牧市真砂町35番2（敷地面積16,937.57㎡）
太陽光パネル容量	約1,212 kW
蓄電池容量	7,833 kWh（TESLA製リチウムイオン電池）
年間想定CO2削減量	約400t-CO2



【本件に関するお問い合わせ先】

安全・施設部 TEL 0144-33-6163

総務部 TEL 0144-33-6161

以上